

(陳受R1 第 12 号) 令和2年度 理科教育設備整備費等補助金予算増額計上についてのお願い	
受理年月日	令和元年9月2日
陳 情 者	公益社団法人 日本理科教育振興協会 会長 大久保 昇
陳 情 の 要 旨	
<p>昨年から今年にかけて、小・中・高等学校において、次期学習指導要領が告知されていますが、小・中学校においては、学生指導要領の中で【環境整備に十分配慮すること】という一文が加えられています。</p> <p>しかしながら、当協会の調査では、小中高等学校の理科教育環境はまだまだ十分とは言えず、観察・実験の実践には設備器具の不足や、薬品や消耗材料の不足、実験準備・後片付けの時間など現場の教師に係る負担が多いなどの指摘が挙げられています。</p> <p>理科教育設備整備費等補助金事業は、小・中・高等学校の観察、実験機器の整備拡充のための予算ですが、補助を受ける自治体が総事業費の半分を負担する制度ですが、積極的にこの補助金事業を取り込み、観察実験機器の充実に着手されている自治体とそうでない自治体の地域格差も生じています。</p> <p>ついては、理科教育環境向上のため、下記の事項にご配慮賜りたく要望いたします。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 令和2年度 理科教育設備予算の計上をお願いいたします。・ 観察実験に伴う消耗品について十分な予算措置をお願いいたします。・ 理科観察実験が十分に行える場所の確保にもご留意ください。・ 実験支援員の配置にも充分なご留意をお願いします。	